

刈谷市役所
危機管理課

要保管

知識と準備で、
命をまもる。



刈谷市

水害ハザードマップの使い方を確認

台風や大雨といった風水害は、ある程度襲来時期や規模を予測することができます。風水害による被害を最小限に食い止めるため、普段から万全の備えをしましょう。

また、普段の備えのひとつとして、水害ハザードマップで自宅や職場等の位置を探して、災害リスクの有無、災害の程度を調べましょう。



水害ハザードマップ

想定される浸水の区域や深さを確認する

最大規模の大雨が降った場合に、想定される浸水の深さを6段階で表示しています。浸水深が自宅などの最上階の床の高さを超える場合は、水平避難が必要です。

想定される浸水の深さ

- 5.0～10.0m 未満の区域
- 3.0～ 5.0m 未満の区域
- 1.0～ 3.0m 未満の区域
- 0.5～ 1.0m 未満の区域
- 0.3～ 0.5m 未満の区域
- 0.3m 未満の区域

3・4階	5m～10m未満 (3階床上～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階以下	0.5m未満 (1階床下浸水)



POINT

自宅の他、身近な場所も要チェック

例えば交通児童遊園周辺では、1階床上～軒下浸水の被害が想定されています。

洪水により家が流される危険性を確認する

大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。



河岸侵食
地面が削られ家屋は建物ごと崩落する恐れがある区域

氾濫流

堤防の決壊等により川の水が流出し、木造家屋が倒壊する恐れがある区域



避難先・避難経路を確認する

家族構成や自宅の状況に応じて最適な避難先を考えておきましょう。水害ハザードマップには、「指定避難所」が掲載されていますが、避難先は必ずしもこの中から選択する必要はありません。安全な知人・友人宅への避難も検討しましょう。

避難先までの経路を考える

避難先が決まったら、水害ハザードマップ上で浸水深や道路情報などを参考にしながら避難経路を考えてみましょう。

実際に避難経路を移動してみる

避難経路の候補が決まったら、実際に移動してみて、避難に要する時間や避難する上で危険がないか確認してみましょう。

(例)



POINT

なるべく安全な経路を!

浸水の危険性が高い地下道等、危険な場所は避難経路としての利用を避けましょう。



南海トラフの地震活動の周期

現在、この地域で起こる可能性が最も高い大規模地震は「南海トラフ地震」です。南海トラフ地震は、これまでおよそ100～150年間隔で繰り返し発生しており、90年で発生した事例もあります。直近が1944年の昭和東南海地震であることを考えると、大規模地震発生危険性が高まっていると考えられています。

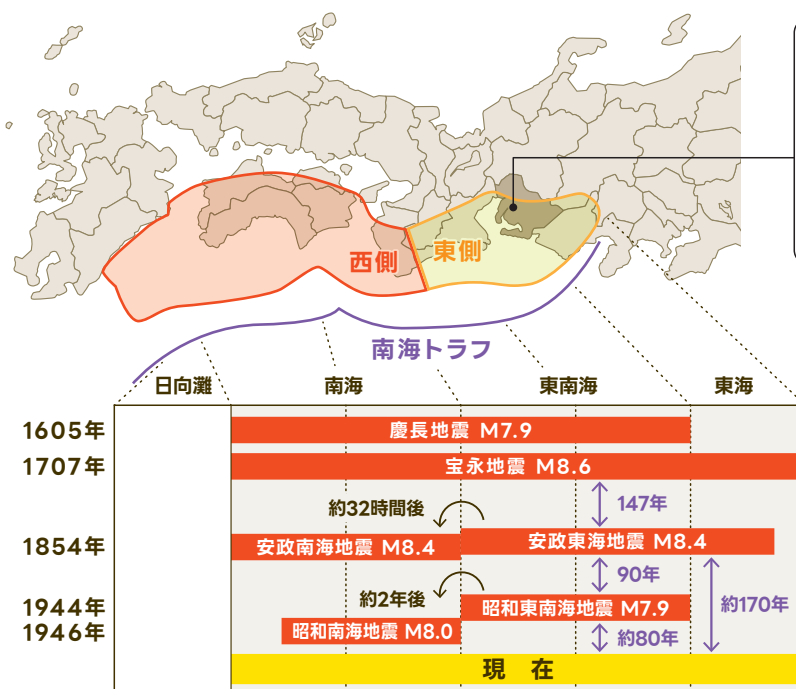


地震ハザードマップ

刈谷市では…

最大震度 **7** の揺れ!

宝永地震、安政東海地震及び昭和東南海地震で被害が確認されています。



POINT

地震発生過程は様々!

一度に広い範囲で発生したり、東側と西側で別々に発生したりするなど、地震の発生過程は様々です。

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら、大規模地震に警戒を

南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場面や、地震発生の可能性が高まっている場合等に、気象庁から発表される情報です。地震の規模に応じて、(巨大地震**警戒**)、(巨大地震**注意**)、(調査終了)の情報が発表されます。



事前避難対象地域

	2時間程度(最短)	～1週間	～2週間	2週間以降
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震 警戒)発表	■事前避難対象地域 市からの呼びかけに従って避難(市HP等で確認) ■その他の地域 日頃からの地震への備えを再確認する	注意期間 日頃からの地震への備えを再確認する	注意期間 日頃からの地震への備えを再確認する	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震 注意)発表	注意期間 日頃からの地震への備えを再確認する	注意期間 日頃からの地震への備えを再確認する	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。
南海トラフ地震調査終了	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。	大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに注意しながら、日常生活を送る。



非常持出品・備蓄品

災害時のために準備するものは、家族ひとりひとりの非常持出品や備蓄品などがあります。大規模な災害時には、日用品が手に入りにくくなるため買い置きしておきましょう。

☑ 非常持出品チェックリスト

いざというときに備え、次のものをすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

- | | |
|---|--|
| ☐ ヘルメット | ☐ アルコール消毒 |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ ハンドソープ・固形石けん |
| ☐ 携帯ラジオ（予備電池） | ☐ 除菌シート |
| ☐ ティッシュペーパー | ☐ 体温計 |
| ☐ タオル | ☐ 救急セット（絆創膏、消毒液、包帯など） |
| ☐ ビニール袋 | ☐ 常備薬・持病薬（処方箋のコピー） |
| ☐ モバイルバッテリー | ☐ 飲料水 |
| ☐ ライター・マッチ | ☐ 食料（レトルト食品、缶詰など） |
| ☐ 万能ナイフ | ☐ 携帯食（アメ、栄養補助食品など） |
| ☐ 手袋（作業用） | ☐ レインウェア |
| ☐ アルミブランケット | ☐ 下着 |
| ☐ 筆記用具（メモ帳、油性マジックなど） | ☐ 靴下 |
| ☐ 携帯トイレ | ☐ 現金（公衆電話用の10円硬貨を含む） |
| ☐ 生理用品 | ☐ 印かん |
| ☐ マスク | ☐ 通帳、身分証明証の各コピー |



乳幼児がいる家族の備え

- ☐ 離乳食、粉ミルク・液体ミルク、ほ乳瓶
- ☐ 加熱調理器具
- ☐ 紙おむつ・おしりふき など

高齢者がいる家族の備え

- ☐ 入れ歯
- ☐ 介護食
- ☐ 大人用紙おむつ など

ペットがいる家族の備え

- ☐ 動物病院連絡先
- ☐ リード
- ☐ ケージ
- ☐ ペット用食品
- ☐ 排泄用品 など

☑ 備蓄品

長期の避難、緊急時の避難に備え、自宅の備蓄品を7日分程度（最低3日分）ずつ用意しておきましょう。

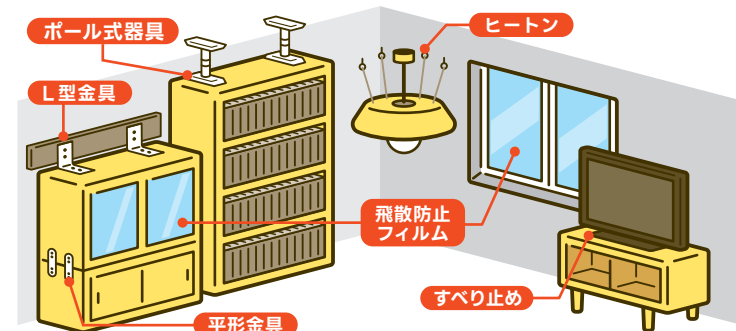
- ☐ 食料
- ☐ 飲料水（1人1日3リットル）
- ☐ 携帯・簡易トイレ（1人1日5回分程度）
- ☐ 生活用品

👉 POINT ローリングストックで備えよう！

ローリングストックとは、普段の食料を少し多めに買い置きしておき、賞味期限の近いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食料を家庭で備蓄しておく方法のことです。



家具の配置工夫・固定



- | | | | |
|---|---|---|---|
| ☐ 棚・ダンス
L型金具やボール式器具で固定。壁が弱い場合は横木を取り付ける。 | ☐ 吊り下げ式照明
ヒートン等の金具で固定する時は、天井の下地のある所か鴨居に取り付ける。 | ☐ 窓・ガラス戸
窓や食器棚のガラス戸には飛散防止フィルムを貼る。 | ☐ テレビ・家電
テレビや電子レンジ等、重量のある家電には滑り止めを敷く。 |
|---|---|---|---|

家具の転倒による被害を避けるため、転倒防止を実施しましょう。

＼すぐできる／ 寝る場所の安全を確保しよう

寝ている時は、一番無防備な状態です。寝る場所に、倒れたり落ちたりするものがないようにしましょう。



＼すぐできる／ 素足は危険！寝室に履き物を

寝ている場所の近くに、厚底のスリッパや、普段使っていない靴を準備しておきましょう。



補助制度を活用しよう

感震ブレーカー設置費補助制度

問い合わせ 危機管理課 ☎ 0566-62-1190

地震の揺れを感知し、自動的に電気の供給を遮断して火災被害を防ぐ器具の設置等を補助します。

対象製品 分電盤タイプの感震ブレーカー

（一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤規格で定める構造及び機能を有するもの）

補助金額 補助対象経費の2分の1（上限20,000円で1,000円未満は切り捨て）

※工事着手前に申請をしてください。

避難者宿泊施設利用補助制度

問い合わせ 危機管理課 ☎ 0566-62-1190

お住まいの地域に高齢者等避難（警戒レベル3）以上の避難情報が発令され、愛知県内に所在する宿泊施設へ避難した場合の宿泊費の一部を補助します。

対象者 市内に居住していて、①～③に該当する方

- ① 妊娠されている方
- ② 1歳未満のお子様とその保護者（2人まで）
- ③ ①②の同居家族（1人まで）

補助金額 宿泊費の3分の2（1人につき1泊当たり上限5,000円で100円未満は切り捨て）

耐震診断・耐震化

問い合わせ 建築課 ☎ 0566-62-1021

住宅等の地震対策として行う耐震診断や耐震改修、撤去工事、耐震シェルター設置などの補助等を行います。耐震診断・耐震化をして安全な建物に住みましょう。

まずは無料耐震診断！



木造住宅

耐震診断 無料

対象 昭和56年5月31日以前に着工された平屋または2階建てのもの

耐震改修費補助 上限135万円（155万円）
（ ）は避難道路沿道の場合

対象 耐震診断値が基準値に満たない住宅の耐震改修

耐震シェルター設置費補助 上限30万円

対象 耐震診断値が基準値に満たない住宅への耐震シェルターの設置
※高齢者（65歳以上の人）または障害者が使用するものに限る

取壊し費補助 上限20万円

対象 耐震診断値が基準値に満たない住宅の取壊し

非木造住宅

耐震診断費補助

共用住宅など 上限120万円（140万円）
戸建住宅 上限8万6千円（10万円）
（ ）は避難道路沿道の場合

対象 昭和56年5月31日以前に着工されたもの

耐震改修費補助

共用住宅・戸建住宅など 上限500万円（600万円）
（ ）は避難道路沿道の場合

撤去費補助 上限10万円（15万円）

（ ）は通学路または緊急輸送道路等沿道の場合
対象 道路沿いの高さ1m以上のコンクリートブロック、大谷石などの撤去

ブロック塀など

※工事着手前に申請をしてください。

瓦屋根耐風診断・耐風改修

問い合わせ 建築課 ☎ 0566-62-1021

強風時における瓦屋根の住宅からの屋根ふき材の脱落等を防止するため、耐風診断・耐風改修を実施する場合に補助を行います。

耐風診断 上限21,000円

対象 令和3年12月31日以前に着工された瓦屋根の住宅のうち、瓦屋根の改修が行われていないもの

耐風改修費補助 上限552,000円

対象 耐風診断により、告示基準に適合していないとされた住宅の瓦屋根全面改修

※工事着手前に申請をしてください。

この他にも様々な補助制度があります。詳しくは建築課へ！



揺れを感じたときの行動の例

地震発生時は、自分の置かれている状況がつかめず、混乱してしまいます。まずは自分と家族の身を最優先に守りましょう。これはあくまで行動の一例です。そのときの状況によって判断しましょう。

地震発生	安全なスペースで自分の身を守る				落下物から身を守る				火元が遠い場合は無理に消火に行かない				あわてて外に飛び出さない			
	揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保			
	揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保				揺れがおさまったら家族と住まいの安全確保			
避難時の判断	在宅				避難所（震度6弱以上で全避難所が開設されます）											
	備蓄しておいた水や食料で生活する				虚報（デマ）に注意し正しい情報を得る				非常持出品を準備、身支度をする				虚報（デマ）に注意し正しい情報を得る			

無料Wi-Fi

KARIYA FREE Wi-Fi

誰でも無料で利用できる公衆無線LANサービスです。メールアドレスやSNSアカウントを登録することで、インターネットを無料でご利用いただけます。

使える時間▶1回の接続時間：60分（接続回数に上限なし）

災害時▶ログイン作業は不要となり、KATCHの災害情報サイトへ切替わります。（1回の接続時間は15分）

詳細はこちら

00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）

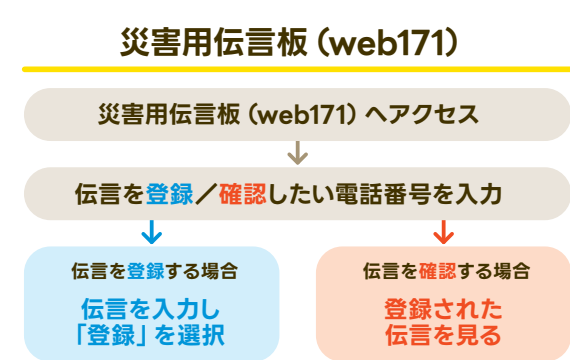
地震や台風、洪水などによる大規模災害が発生した際に、情報収集や安否確認の連絡などを行いやすくするため、無料で開放される公衆無線LANサービスのネットワークです。

使い方▼

スマートフォンやパソコンの設定画面でWi-FiをONにしたあと、ネットワーク選択画面で「00000JAPAN」を選択。

NTT災害用伝言ダイヤル

災害発生時の安否の確認や家族間や知人などとの連絡には災害用伝言ダイヤル（171）等を活用できます。



風水害時の行動の例

警戒レベルと避難情報

危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。災害発生危険が高まり、市民の皆さんに避難行動を促す必要があると判断した場合は、市から避難情報を発令します。
警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、危険な場所にいる人は全員避難する必要があります。

避難情報等		とるべき行動	相当情報
警戒レベル5	緊急安全確保	命の危険あり 身の安全を可能な限り確保	氾濫発生情報 大雨特別警報など
警戒レベル4までに全員避難			
警戒レベル4	避難指示	全員が安全な避難場所へ避難	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報など
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間を要する人とその支援者は安全な避難場所へ避難 全員がいつでも避難できるように準備	氾濫警戒情報 大雨・洪水警報など
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報	避難に備え、ハザードマップなどにより、自ら避難行動を確認	
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。	

どう避難する？ 避難時の判断

水平避難

垂直避難

家屋流失・浸水の危険がある地域に住んでいる場合は、自宅などから指定避難所やその他の安全な場所に避難する。

夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい時や、ひざ上まで（50センチ以上）浸水している時は、建物内の2階以上へ避難する。

避難時の健康管理

飲料水の衛生管理

ペットボトル入りミネラルウォーター又は煮沸水を使用しましょう。時間が経過した水は、5分以上煮沸させて煮沸消毒しましょう。

口腔衛生管理

災害時は歯・口・入れ歯の清掃がおろそかになり、むし歯、歯周病、口臭などが生じやすくなります。耳の下、ほお、あごの下を手でもんだり、あたためるとだ液が出やすくなり、比較的口腔内をきれいに保つことができます。

ハブラシがないとき

食後に少量の水やお茶でうがいをします。ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります。

水が少ないとき

約30mlの水を準備し、水でハブラシをぬらして歯みがきをします。合間にハブラシの汚れをティッシュで拭き取ります。コップの水を少しずつお口に含み、2～3回にわけてすすぎます。

入浴ができないとき

入浴設備が整わない場合でも、病気や感染症予防等のために、体を清潔に保つことが大切です。温かいおしぼりやタオル等を用いて体を拭いたり、足や手など部分的な入浴も効果的です。

携帯トイレの使い方

停電や断水、下水道施設の破損により、トイレが使用できなくなることがあります。携帯トイレを備えておけば、流せなくなったトイレを使用して排泄することができます。

- 便座をあげて、大きめのごみ袋（45リットルほど）をかぶせる
- 便座をおろし、上から便座をくるむように携帯トイレの袋を被せる
- 商品のパッケージに従い処理をする
- 使用後、携帯トイレの袋のみ外して空気を抜いてしっかりと口をしぼる
- 密閉できる容器に入れ、収集まで保管する



正確な

防災気象情報を 得るには

防災気象情報を得る手段には、プッシュ型（自動的に届く情報）と、プル型（自分で取りに行く情報）の2種類があります。
以下の入手方法から二重、三重に準備して情報を確実に取得できるようにしておきましょう。

公的機関から
正確な情報を



プッシュ型 自動的に届く情報

市メール配信サービス

避難情報や気象情報等を、登録したアドレスにメールで配信します。なお、市メール配信サービスを利用できない方へ、自宅の固定電話に市からの緊急情報をお知らせします。詳細については、危機管理課までお問い合わせください。

登録方法

1. 携帯電話から「t-kariya@sg-p.jp」へ空メールを送信します。
(右の二次元コードを読み取ると、アドレス入力の手間が省けます。)
2. 本登録をするためのメールが返ってきます。
3. メールに記載されたURLをクリックし、本登録用のページを開き、登録してください。



市LINE公式アカウント

市公式アカウントの友だち登録者全員に避難情報等を配信します。



刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」

市メール配信サービスと同様の避難情報等を受け取ることができます。



防災ラジオ

緊急地震速報や避難情報等の緊急情報をお知らせするためのラジオです。電源プラグをコンセントに差し込んで待機状態にしておけば、自動的に起動し、緊急放送が大音量で流れます。

刈谷市役所 3F 危機管理課で販売中

価格 市民 2,000 円 事業者 5,000 円

- 原則、1世帯または1事業者・事務所あたり1台までの購入価格です
- 購入から5年経過することにより上記価格で再購入が可能です
- ※実費相当額(9,500 円)で2台目以降も購入可能です

支援対象者は1人1台1,000 円で販売しております。詳細は危機管理課までお問い合わせください。



Yahoo! 防災速報 防災行政無線 緊急速報メール（エリアメール） 広報車

プル型 自分で取りに行く情報

気象庁ホームページ

雨雲の動きや危険度分布（キキクル）を確認することができます。



市ホームページ

災害時には避難情報・通行止め情報等を確認することができます。



噂やデマに要注意!

SNS等、公的機関以外の情報には信憑性のないものも…。
噂やデマを信じない、
広げないようにしよう!



刈谷市防災気象情報 KATCHネットワーク災害放送 国土交通省川の防災情報
NHKデータ放送 PitchFM83.8MHz 愛知県川の防災情報

わが家の防災メモ

災害用伝言ダイヤル「171」の番号

※使い方はこの冊子の5ページ目をご確認ください



家族が別々の場所にいるときに災害が発生したら、お互いの安否を確認できるよう、予め避難場所や緊急連絡先について話し合っておきましょう。

家族の名前	生年月日	性別	血液型	携帯電話番号	会社・学校の電話番号
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				

わが家の避難先（親類宅・避難場所など）

家族が離ればなれになった時の集合場所